

# 日本鐵鋼協會記事

## ◎編輯會

大正十三年八月二十日（水曜日）午後五時より本會事務所にて於て編輯會を開き會誌第十年第九號の原稿を選定せり、當日出席者は河村驍君、山本貞次郎君、三島徳七君、田中清治君、杉村伊兵衛君等なり。

## ◎圖書寄贈

大正十三年八月中寄贈を受けたる圖書左の如し。

- 一、朝鮮鑛床調査報告 第七卷ノ二（江原道）
- 一、同 前 第八卷 （忠清北道）
- 一、同 前 第十卷ノ三（慶尙北道）
- 一、石炭乾餾試験報文 以上 朝鮮總督府地質調査所殿

## ◎吳市に於ける聯合講演會狀況

第一日（七月二十七日）出席員殆んど到着、午前九時豫定通り開會、堤副會長の開會の辭に次で伍堂吳工廠長の挨拶あり、其れより次第書の順に依り講演に移る。

午後四時講演會閉會、有志會員は市内工場を參觀す。

午後七時三十分晚餐會開會、來賓は吳鎮守府司令長官を始め吳市長、吳廣工廠長、軍艦伊勢艦長、廣島高等工業學校長、委員、講演者及工場主等三十四名なり、デザート、コースに

入るや、斯波前會長三學會を代表し挨拶あり竹下司令長官及吳市長來賓を代表し謝辭あり、其れより一同庭園に至り鎮守府の厚意に依る軍樂隊の演奏を聴き盛會裡に午後十時半散會せり總出席者百二十餘名なり。

第二日（二十八日）午前八時十分第一棧橋より海軍汽艇にて出發、各自希望する所に依り工廠内參觀、正午中餐。

斯波前會長、堤副會長、齋藤大吉博士は吳市長の招待會に出席。

午後一時工廠本部前棧橋より汽艇にて軍艦伊勢の見學に向ふ。

艦上にて福興艦長より軍艦に關する講話あり其れより數組に別れ艦内見學、見學を終りて士官室にて茶菓の接待を受く通俗講演會には約千名の聽講者ありたり。

第三日（二十九日）午前七時十五分第一棧橋より汽艇にて廣工廠に向ふ工廠着後田中造兵少將より飛行機に關する講話あり、次に海岸に至り記念寫眞を撮影し飛行機の實地飛行あり、其れより石川造機部長の案内にて工廠内を參觀す、正午中餐、午後一時十五分汽艇にて兵學校に向ふ、兵學校着後一同講堂に會し校長より兵學校の變遷を聴き堤副會長三學會を代表し謝辭を述べ是れより校長の案内に依り校内を參觀す、參觀を終りて俱樂部に至り紅茶、サイダー、サンドウヰッチ、菓子等の接待を受く、午後四時半兵學校の汽艇にて嚴島に向ふ、午後六時嚴島着、指定旅館岩惣に一泊。

第四日（三十日）午前九時五十五分鐵道省週遊船大瀬戸丸に乗じ七浦廻りを爲す午後一時歸着齋藤大吉博士三學會を代表し挨拶をなす、溝口伯爵參會員を代表し謝辭を述べ、終り

に石川造機部長の主唱にて萬歳を三唱し盛會裡に散會す。

連日炎暑烈しかりしも重病者を出ださざりしは幸なりき、只第三日週遊終了後吐瀉に罹りたる者三名ありたるは遺憾に不堪。

三十一日機械學會主事小出林吉君吳市及參觀工場へ挨拶に廻る。本講演會總出席人員二百九十名なりき。

### ◎齋藤博士より河村會長宛

#### 講演會狀況通信

##### 前略

左に過日吳市に開かれたる機械、火兵、日本鐵鋼三學會聯合大會の模様を略報申上候

七月廿七日午前七時五十三分吳驛に到着せる會員の大多數は驛前の天幕内にて各自の宿舍割、出席者會員名簿、番號を記入せる會員章及吳市の地圖（旅館及見學工場等の位置を記入せる）等を受取り各指定せられたる宿所に急ぎ朝食を採りたる後九時吳會館に於ける講演會場に集り申候先づ地方會員を代表せる伍堂少將の挨拶に亞ひて機械學會副會長堤正義氏司會の下に豫告せられたる林田機關少佐及吉川造兵中佐の講演を了り午後小生司會の下に湯淺工學士及日高造兵中佐の講演をなし午後四時頃之を終り候其多くは講演の大意を記せる印刷物及青摺を配布せられ又數多の圖表を掲げて多年研究せられたる結果を披瀝せられ聽衆に多大の感動を與へ申候、當日炎暑焼くが如かりしも三百に垂んとする會員及數多の工廠高等官堂に溢れ、額に玉なす汗を拭ひつゝ、講演者の一言一句をも聞き洩らざじと耳を欬つる有様を視て漫ろに學會氣分

を味ひ得申候

同日午後七時より水交社に於て晚餐會を開く山下鎮守府司令長官、春藤吳市長等の來客ありデザートコースに入りて斯波博士の三學會を代表せる挨拶ありて竹下大將之れに答へ食後綠滴る前庭に涼を納れつゝ鎮守府より寄贈されたる海軍々樂隊の演奏を聞き十二分の歡を盡して午後十時過ぎ此會合を終り申候

廿八日には午前八時廿分第一波止場にある汽艇に同乗して吳工廠に至り豫定の三班に分れて工場を參觀仕候各自其志す所に向つて視聽を凝し得る所不尠と存候、正午前之を終り會員の多數は廠内にて晝食を採り午後は軍艦伊勢の見學に赴き申候、又幹部の少數及工廠の高級技術官等は岩越旅館に於ける春藤市長の午餐會に招かれ申候、午後七時よりは吳會館に於て吳市及三學會聯合通俗講演會を開き申候聽衆千餘中々の盛況に有之申候春藤市長の開會の辭、伍堂少將の一般民衆に工業智識注入の必要なる挨拶に亞ぎて小生は前座として兼て貴台に御報導申上候題目「地實に恵まれざる我國民の覺悟」に付て述へ（聽衆に非常なる感動を與へたり編者記之）次に斯波博士は先づ世界主要國に於ける航空機發達の有様を述べられ我邦の夫れが殊に貧弱なるを救ふが爲めには航空學術の研究が目下の急務なるを述べ數多の幻燈を用ひて珍らしき風の寫眞、航空研究所に於ける各種測定機の構造等を説明せられ聽衆に多大の感動を與へ申候

二十九日は午前六時五十五分第一波止場に參集海軍の汽艇にて廣工廠に向ひ申候途中音戸の瀬戸を通過し遠近の好景色を賞しつゝ八時過廣工廠に着、直に講堂に入つて工廠長宮崎

少將の歡迎の辭あり、亞ひで航空部長田中少將は約三十分間  
 數多の模型及圖表に由つて同廠にて製作さる、航空機に關し  
 極めて要領を得たる講演を試みられ申候、夫れより飛行場に  
 至りロールス・イーグル、九型三百六十馬力の發動機二臺を  
 備ふる沿岸防禦偵察爆撃用 F5 號飛行艇及輕快なるアプロ  
 水上飛行機の見事なる飛行振を見學仕候、右終つて航空機ロ  
 ーラン型製作工場、機關研究部工場、鑄造工場、同仕上げ工  
 場等を見學し其規模の大にして整頓せるに一驚を喫し申候、  
 晝食終つて午後一時再び汽艇上の人となり江田島に向ふ船  
 中暑さと睡眠不足とにたゞられて華胥の國に遊ぶ人極めて多  
 し、四時頃船は兵學校前の波止場に着す教頭其他に迎へられ  
 て直に莊麗を極めたる花崗岩造りの講堂に入り校長谷口中將  
 の同校の沿革に關する講話を聽き堤副會長の謝辭あり亞ひで  
 校内を參觀す講堂の階上に陳列されたる記念物中明治の初年  
 入學したる學生の誓書中山本大將の自署名の下にある血判の  
 痕は大に觀衆の興味をそゝり申候、其他此月御卒業あらせら  
 れし王子高松宮殿下の質素を極めたる御寢室並に御自修室等  
 は一同をして坐るに襟を正さしむるもの有之申候、其他一般  
 學生の自修室、寢室等を過ぎて洗面所、浴室等に至り各名札  
 の下に手拭の整然と掛れるを見其秩序ある教養を偲びつ、各  
 教室を巡覽し終りに山上の水交社に於て鄭重なる茶菓の饗應  
 を受け申候右終つて余等は山上遙に毎土曜より日曜にかけて  
 高松宮殿下の御歸宿あらせられし御殿を拜しつ、波止場に急  
 ぎて兵學校の汽艇に入り谷口中將以下の幕僚に送られて宮島  
 に向ひしは午後五時を過ぐる頃なりし（又一部の會員は吳よ  
 りの船に搭じて吳市に向へり）船上日落つる頃より涼風頻り

に至りて日中の暑さを忘れて午後七時嚴島に着、一行一百六  
 名の會員紅葉谷の岩惣旅館に入り申候、茲は名にし負う關西  
 の樂天地旱天の下流水豊かならずと雖、楓樹の綠陰清風掬ふ  
 べきものあり會員一同連日の疲を慰するに足り申候一浴の後  
 一同大廣間に會合して夕食を共にし或は麥酒の滿を引ひて御  
 機嫌斜ならざる者或は西瓜の二つ切りをホデクツテ舌鼓を打  
 つ者等各員向ふ所に從つて慰安の途を講じ申候

卅日午前九時半鐵道省の汽船にて嚴島の島巡りを行ふ涼風  
 に浴しつ、案内者の説明を聞き俗謠にある「安藝の宮島まわ  
 れば七里浦は七浦七惠比須」の赤き鳥居を船中より遙拜しつ  
 、午後一時過ぎ之を終り棧橋に上つて開散式を擧げ西に東に  
 袂を分ち申候

此四日間に亘る會期中特筆す可きは伍堂少將、石川大佐、  
 松田、日高兩中佐、室井技師等を初め吳地方會員諸君の倦ま  
 ざる努力、海軍關係大官及春藤吳市長の好意、機械學會島根  
 君等の晝夜を分たざる盡力にして會員一同の深く感謝する所  
 に有之申候又此度の聯合會に於て始めて採用せられたりと稱  
 する宿泊食事等の切符制度は特に此會合をして秩序整然たら  
 しめたるもの有之申候

又吳市の工業として縦覽を許されたるは阪田、丸中等の萬  
 年筆及金ペン工場、京屋足袋工場、三宅酒場等なるが殊に金  
 ペン工場は衆人の注目を曳き申候殆んど凡て手働に由る小機  
 械にて材料の壓延、ペンの打抜、研磨、仕上げ、尖割り等誠に  
 巧妙なるもの有之殊に其尖端に白金イリヂニウムIridiumの小球を  
 スポット、ウェルディングを行ふ小供の手際など興味深く候。  
 スワソ金ペン、セーラー萬年筆等は悉く此等工場の生産品に

有之一ヶ年産額數十萬本に及ぶ由に候、其他畫ピン、鉛筆の兩端に付ける金具等の製造も面白く吳工廠に行はる、藥筈の製造法に倣ふて之を極々小形製品の製作に工業化したるの觀有

之金屬テクノロジーの立場より見て特に面白く見學仕候終りに臨み小生は炎暑の候前記諸氏の少なからざる斡旋に由り一つの遺漏だになく此大會を終りたるを感謝仕候 拜具

◎製鐵業用語選定 (第十二回)

本年六月號に掲載せる製鐵業用語選定の結果左の如し、之に關して御意見あらば御通知を乞ふ。

英 語	會 員 よ り 回 答 語	決 定 語	摘 要
Grate (Fire grate). Grate firing. Finishing roll. Roughing roll. Cogging mill.	火格子、火床 火床焚火、火床焚燒 仕上ロール、仕上壓延機 粗ロール、粗壓延機 分塊壓延機	火格子 火格子焚き <small>ファイナリッシュ</small> 仕上ロール 粗ロール 粗轉子	
Wire mill. (Looping mill, Rod mill). High speed rolling mill. High speed hammer. Step (Stepped) roll. Wobler (of roll).	線材壓延機 高速度壓延機 高速度鎚 段ロール 軸 頭	線材壓延機又は同工場 高速壓延機 高速鎚 <small>ステップ</small> 段轉子 轉子頭	
Neck (of roll). Body (of roll). Open pass. Closed pass. Oval pass.	軸頸、轉子頸 軸胴、轉子胴 — — —	轉子頸 轉子胴 開孔型 閉孔型 橢圓孔型	

<p>Bed plate(Sole plate). Bearing. Bearing metal. Live roller. Housing(Stand).</p>	<p>床板、臺板 軸承、軸受 軸承金、軸承マタル 一 壓延支臺、スタンプ</p>	<p>床板 軸承 軸承金 活轉子 支臺</p>	
<p>Coupling box. Coupling spindle. Angle. Fish plate. Rail.</p>	<p>カップリング、鞘(接手) 探手鋸 角鐵、アングル、山形鋼 繼目板、挟接鋸 軌條</p>	<p>接合箱 接合棒 山形鋼 繼目板 軌條鋼</p>	
<p>Straightening machine. Shearing machine. High speed steel. Ingot tumbler. I-beam.</p>	<p>整正機、板均機 剪斷機 高速鋼 鋼塊轉覆機 I形鐵、I-beam</p>	<p>整正機 剪斷機 高速鋼 鋼塊轉覆機 I形鋼</p>	
<p>Channel. Rollgang.</p>	<p>山形鐵、チャンネル ロールガンガ</p>	<p>溝形鋼 ロールガンガ</p>	